



# しらかわ報

発行 川西町・町長 根津正三 編集 企画室広報係 北村準一 定価 1部5円 印刷 白南風社

## 人口の動き

1月1日現在

男 5,414(+4)

女 5,501(-10)

計 10,915(-6)

世帯数 2,438(-5)

( )内は前月との比較



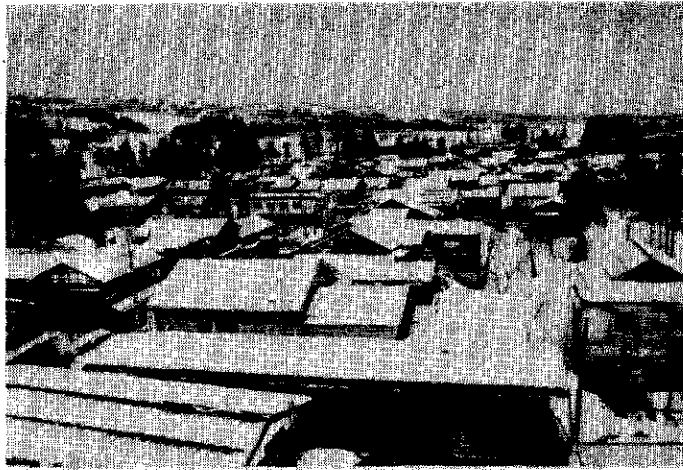
## 年頭のごあいさつ 明るく健全な町づくりを

町長 根津正三

おめでとまでございます。  
ご覧のように、まれにみる気候条件に恵まれ、皆さんには、さぞかしお元気で、輝かしい新春を迎えられたことでしょう。  
また、この機会に、日ごろ町政の円滑な運営のため、皆さんから暖かいご支援、ご協力をいただいていることに対し、深く感謝を申し上げます。

ふり返って、昨年というものをながめてみますと、国内外の激しい動きの輪の中にあつて、町もまた、いくつもの悪条件や試験といふものに遭遇したのでありますが、その将来を見通すという考え方にたつた場合、ひじょうに含蓄のある一年といふことができるのではないのでしょうか。  
計画面積約一千ヘクタールに及

ぶ大規模は場整備事業の開始、第二、第三号の工場誘致実現、過疎地域振興計画の樹立や農業振興地域整備計画の策定。  
常設保育所建設をはじめとする福祉の充実を注いだこと、教育面における千手小学校の日本一健康優良学校獲得、中学校の聯合白倉小学校改築、全国へき地教育研究大会の開催。



## おだやかな新年

雪に対する土地の条件や感覚、考え方には、いろいろと差違が生じています。  
たとえば、五センチほどの降雪でも大雪ということ、たちまち交通の渋滞してしまう都市もあれば、逆に、三メートルの積雪くらいならまた小雪のうちというような地方さえあるのです。

それにしても、この雪の降らないのはいったいどうしたことなのでしょう。  
今日のこの写真は、きつと記録的な写真になるぞと、毎日、カメラをぶらさけては、街頭をスケッチしているのですが、……

(庁舎屋上から、五日)

あるいは、中仙田地区の水道建設や住宅団地の造成、国道改良の越ヶ沢トンネル起工、広域市町村圏の設定等々。  
これらによって、川西町のちよと満十五歳の年を、内容の豊かなものとすることができたのであります。

新しい年は、さらに、道路整備防災および安全体制の強化、産業の振興、教育環境の整備、福祉の向上、水道普及率の伸長や保健医療体制の充実等について、均衡のとれた町づくりをめざし、計画的に進めてまいる考えであります。  
しかしながら、これらを満たしていくうえで、地方財政というものはまことにきびしいものが予想されておりますので、町政の責任者として、再選直後の新年の門出にあたり、覚悟を新たにすることがあります。

いっぽう、日常もつとも気がかりなのは、交通事故の多発ということですが、痛ましい事故を、なんとしても絶滅してしまふよう、皆さんから特別のご認識をいただきたいのであります。  
いすれにいたしましても、ここ数年米の生産調整問題を筆頭に、町の当面した数々の曲折というものに対して、皆さんとともに議会、各種委員会等と力を合わせながらこれを乗り切つてまいつたのと同様、本年も、挙町体制の束を十分に發揮して、明るい、健全な町づくりにむけて力強く進んでまいりたいと存じます。

どうぞ、いっそうのご理解をたまわりますよう、お願い申し上げます。

## 行事

- 一月
- 七日 文化財調査打合せ会
- 八日 冬の交通事故防止運動街頭指導
- 九日 橋地区婦人会役員会

- 十日 選挙管理委員会
- 十一日 農業技術者会議
- 十一日 木落婦人会
- 十四日 交通事故防止運動街頭指導

- 十五日 成人の日
- 十七日 赤谷老人学校
- 十八日 交通事故防止運動街頭指導者会議(分室)
- 二十日 教育委員会
- 二十日 中仙田ニコニコ会
- 二十三日 岩瀬老人学校
- 二十三日 一般スキー教室(角万寺会場)
- 二十四日 臨時町議会
- 二十八日 都市青少年団体加入促進協議会(月見荘)
- 三十日 一般スキー教室(角万寺会場)

## 新年度予算の編成作業目標

- 十日 編成方針説明会
- 十九日 各課から予算要求書を提出
- 二十二日 要求書計数整理作業の終了
- 二十六日 事務レベルによる査定を終了
- 三十一日 町長査定終了

# 町議会報告 (十二月定例会) 土木課・水道課を併合、建設課に 決算認定、予算補正など盛りだくさん

旧年、暮れの十四日に招集された第九回町議会定例会は、翌十五日と合わせて会期二日間、四十五年度の決算認定七件、四十六年度一般会計予算の三回目の補正など六議案、ほかに請願三件を審議し、最後に町政に対する一般質問を行なって、昭和四十六年を締めくくりました。

## 高倉分校、新年度から独立校に

議案第一号は、川西町課設置条例の一部改正。これは、いままでの土木課、水道課のふたつを統合して新たに建設課を置くという内容で、原案どおり可決されたのち同条例は十五日公布、同日施行となりました。

議案の第二号は、川西町立学校

## 十二月定例会 請願のなりゆき

- 〔産経委員会付託分〕
- ◎取安新田は場整備に関する請願……………採択
- ◎野口大原畑地は場整備に伴う水槽施設に関する請願……………採択
- 〔新規分〕
- ◎川西中学校水泳プール建設に関する請願(請願者、川西中学校PTA会長小林申一ほか四百五人)  
総文委員会に付託

## 一般会計は五億四千八百万円余に

議案第三号町職員退職手当組合規約の変更(原案どおり可決)の次に、昭和四十五年度一般会計と特別会計、都合七会計の決算認定が行なわれました。

この、決算認定については、すでにその規模等、前号でお知らせしたとおりです。

議案第四、第五、第六号は、千手地区と中仙田地区の簡易水道事業特別会計および一般会計の各補正予算についてでした。

補正の回数、は、簡易水道会計ともこれが第一回目、一般会計の場合は、六月と九月に次いで三回目の補正予算でした。(いずれも原案どおり可決)

この補正で、一般会計は、既定の歳入歳出予算総額にそれぞれ一千百一十五万円が追加となり、予

設置条例の一部改正で、仙田小学校高倉分校の独立校昇格を内容としたものですが、これも原案どおり可決され、四月一日を期しての高倉小学校発足が決まりました。

また、千手地区簡易水道事業特別会計については、歳入歳出に各百二十五万四千円を追加し、千二百三十八万二千円の規模に、中仙田地区簡易水道事業特別会計は三十万六千円の追加で、歳入歳出とも三千九百九十七万八千円の規模になりました。

## 六氏が一般質問に立つ

日程の最後に行なった町政に対する一般質問では、次の各氏が質問に立ち、激動した年の幕切れになりました。

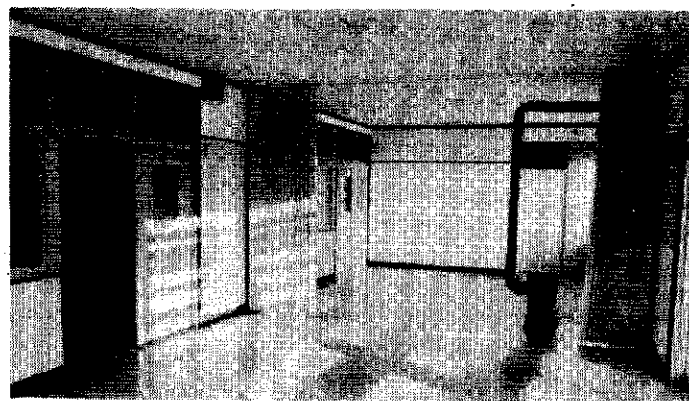
## 町の人事

配置換え／十二月十五日付  
総務課長・数藤彦三(水道課長)  
企画室長・星名仁作(土木課長)  
建設課長・南雲春雄(総務課長兼企画室長)  
採用／一月一日付  
産業課・丸山惣吉(川西町土地政

- 田中三郎氏「交通事故防止対策と選挙時啓発運動について」
- 豊坂 茂氏「上越新幹線への直通道路構想について」
- 中村金作氏「基盤整備事業の工事運営と第二次構造改善事業について」
- 数藤 巨氏「寄宿舎整備等、教育の機会均等について」
- 村山義雄氏「過疎対策の展開について」
- 須藤寛蔵氏「農業構造改善事業について」

なお、このほかに、田中三郎氏の次に、平野圭二氏が農協合併の問題について質問する予定であったところ、同氏の質問開始と同時に、千手農協で事故発生という連絡がはいり、同農協の組合長である平野氏は発言を中断し現場処理のため退場、結局、質問を取り下げるといふ場面もありました。

この一般質問の詳細については今回のものを含めて、今後は欠かさずに町政のひろば等を通過してお知らせするよう、係で検討中です。



新設の上野保育所内部

## 千手・上野 両保育園児の募集

- 次の要領で、千手保育園、上野保育園の園児を募集します。
- 募集対象区域は、千手の場合これまでどおり、新設の上野保育園は上野地区全域です。
- 1 募集人員
    - 千手保育園
      - 三歳未満児 七人
      - 三、四歳児 六十三人
    - 上野保育園
      - 三歳未満児 十八人
      - 三、四歳児 七十二人
  - 2 受け付け期間
  - 3 上野保育園
    - 受け付け場所
    - 千手保育園の場合、役場の勤務時間内に社会課窓口へおいでください。
    - 上野保育園の場合、当日午前九時から午後四時までの間に、上野連絡所へおいでください。
  - 4 留意点
    - (1) 申請用紙は係で用意しており
    - (2) 家族の状況についてお尋ねすることがありますから必ず、保護者からおいでねがいます。
    - (3) 印鑑が必要です。
    - (4) 必要な書類
    - (5) 父母の勤務証明書(勤務先発行のもの)
    - (6) 昭和四十六年給与所得源泉徴収票
    - (7) (家族の病気が申請理由の場合)医師の診断書
    - (8) その他
    - (9) 千手保育園に在園中で、引き続き入園を希望する場合も、申請を要します。
    - (10) 病気等の障害から、集団生活が困難な児童はご遠慮願います。

# 昭和四十六年 「赤い羽根・歳末たすけあい」 募金結果の報告

## △配分先と配分額▽

十月一日から年末にかけて実施した「赤い羽根共同募金」と、みんなでお正月を、というスローガンのもとに呼びかけを行なった「歳末たすけあい募金」のいずれも、皆さんのご理解をいただいて、目標額を達成することができました。

今回も、恵まれない人たちに對する配分をはじめとして、広く社会福祉事業に活用することができました。

低所得世帯	二四六五〇円
母子世帯	一三、五〇〇円
身体障害児	一〇、〇〇〇円
身体障害者	三三、〇〇〇円
ねたきり老人	一九、〇〇〇円
児童福祉施設入所者	四、五〇〇円
重症心身障害者	三、五〇〇円
老人ホーム	五、〇〇〇円
老人ホーム入所者	七、〇〇〇円
特別養護老人ホーム入所者	一、五〇〇円
単身老人	六、〇〇〇円
長期入院患者	四六、〇〇〇円
合計	一六四、六五〇円

ほかに、募金用封筒、送金手数料として七二〇五円、次年度への繰越金四一四八円

## 赤い羽根

水戸別募金 三九〇〇八八円  
 水学校募金 二二四三六六円  
 水その他 七七六六円  
 合計……四一七、三〇〇円

## 歳末たすけあい

水戸別募金 一七〇、〇〇〇円  
 赤十字募金 六〇、〇〇〇円  
 内訳、木島子供会 二〇、〇〇〇円  
 深澤会 四〇、〇〇〇円  
 合計……一七六、〇〇〇円

## 新しい嘱託員

△千手地区▽  
 ◎中島町・高橋勇 ◎山野田・宮沢由志三 ◎発電所通り・石沢元治 ◎水久公舎・藤田隆策 ◎四郎兼・小野塚留吉 ◎東善寺・斎藤嘉栄 ◎上町・野上正一 ◎中央町・大井正司 ◎田中町・野上英二 ◎神社町・関口シイ ◎学校町・増田享 ◎中屋敷・長部三郎 ◎寺尾・高橋博 ◎木島・丸山幸吉 ◎沖立・数藤貞義 ◎伊

## 文化財について お願い

激動の時代の中で、新しい生活文化が普及浸透し、華家難村や増改築があいつぎ、古い家屋が処分され、家財が整理されて、川西町内の貴重な文化財が次々と失なわれていきます。

町では、これらの文化財を保護し、活用をはかるために、目下、各種の事業を実施していますが、とてもたいへんな仕事で、町のみならず皆さんの協力がなければどうすることもできない状態です。

もしも、次のことについてお心当たりがございましたら、町教育委員会社会教育課までお知らせください。お願いいたします。

古文書ヤイ

昔からの、川西町のおもなできごとを調べて年代表をまとめる作業をすすめています。そのウラツケとなる古文書が少なくて困っています。古文書を所蔵の方、ま

友・黒島善一 ◎高原田・高橋利一 ◎坪山・高橋長夫 ◎齋条・蔵品茂 ◎鶴吉・田村重正 ◎平見・市川彦平 ◎木島公舎・島田明衛

△橋地区▽  
 ◎木暮・羽鳥朔市 ◎寺ヶ崎・高津徳治 ◎塩辛・藤巻三郎 ◎仁田・須藤茂一 ◎野口・村越太郎 ◎根深・丸山忠司 ◎下原・丸山宗太郎

以上、敬称略  
(五日現在)

## 民俗資料

〔十二月分〕

- ▽入手品
- つく織機
- ▽寄贈者(敬称略)
- 小川吉江(岩瀬)

たは所蔵の家をて存知の方は一報ください。

口伝(クチ伝え)がほしい

オレが何才のとき、慶応三年生まれの祖父が何才のとき大キキンに会って難儀した話をきいた、その様子はこうだったぞうだ、とか明歴三年七月の大豪雨で岩瀬に抜け間ができた、とか、または、橋に始めて自転車が入ったのは大正四年五月のこと、本山慶作さんという人が東京から八十円で買って来た、そのころ米一俵が四円三十銭、といったような、正確な口伝をいっぱいほしいのです。ささいなことでもお知らせください。

## 流行の周期か

インフルエンザ、いわゆる流感については、日ごろ、ご家庭でその予防にじゅうぶんに留意しておられることでしょうか、ことは、気候の寒暖差が激しいと予想されていることやウイルスの抗原構造の変化、あるいは、流行の周期説など、悪い条件が重なっているため、かなり発生するのではないかと懸念されています。

特に、集団生活を営んでいる施設での急速な感染が心配され、予防と同時に、発生状況の正確で早期の把握ということが、防疫対策上、ひじょうに重要です。

そこで、皆さんから、次の点を励行していただくようお願いいたします。

## インフルエンザの予防

- 1 外出から帰ったら、必ずうがいをする習慣をつける。
  - 2 室内の採暖、換気に「じゅうぶんに注意する。」
  - 3 過労、不摂生を避け、栄養に注意する。
  - 4 人の近くで、せきやくしゃみをしたたり、つば、たんを吐かない。
  - 5 感染し、また、感染のおそれがある際は、早く医師の診察を受ける。
- ◎集団発生時は  
 事業所や学校、幼稚園、保育所等で集団発生し、またはそのおそれがあるときは、すぐに保健所に通報して指示をうける。

## 参考

川西町における、昭和四十一年以降五年間のインフルエンザ罹患患者数は、四十一年六十一人、四十四年三人、計六十四人です。

## 町の声

冬の歩道で  
 一言 (坪山、一主婦)

木島町の松屋工場前、から川西中学校まで、歩行者保護のために、せうかく作っていただいた歩道が、降雪のたびに通れなくなり、歩

坪山、一主婦の  
 かたへ

行するのに危険です。冬期間も通れる歩道にしていただきたいのですが。

ごもっともなご意見です。町でも、町長はじめ関係者全部があなと同じ考えで、先般県道除雪担当の十日町土木事務所長と協議要請してみました。しかし、いまのところ、歩道の除雪までとてもできかねるとおりです。

なんとか、冬も利用できる歩道にしたいものと努力いたしますので、ご了承願います。  
 (建設課土木第二係)

# 戸籍の窓から

うぶ声—おすこやかに

蔵品 光壽 弘 長男 籍條  
 押木 勤 徳一 長男 元町  
 押木 浩 徳一 二男 元町  
 井口 泰穂子 一夫 長女 仁田  
 増田 雄一 安弘 長男 原田  
 中村 和代 武男 長女 山田

高橋 修 隆一 二男 坪山  
 美野 正彦 政雄 長男 上野  
 川崎 英樹 一男 長男 越ヶ沢  
 墨名 誠 孝児 長男 学校町  
 山口 隆 隆也 長男 仁田  
 柳 未樹 信一 三女 学校町

たかさご—円満に  
 新田 清水 昭平 上町 崎から  
 新田 前澤 儀子 柏崎から  
 新田 高橋 清一 伊友  
 新田 上村 カズ 十日町から

新田 山田浩太郎 仁田 知から  
 新田 近藤 重子 愛知から  
 新田 金子 耳 岩瀬  
 新田 佐藤 慶子 秋田から  
 新田 登坂 行喜 赤谷  
 新田 高橋トミ子 新発田から  
 新田 小川 善一 赤谷  
 新田 濱ふみ子 茨城から  
 新田 戸田 賢樹 仁田  
 新田 山田美枝子 仁田  
 新田 星名 新一 越ヶ沢  
 新田 沼田 記子 大宮から

新田 相崎 喜市 沖立  
 新田 田口 美子 木落から  
 新田 田口 建夫 木落  
 新田 関口 細子 十日町から  
 新田 川崎 正巳 越ヶ沢  
 新田 平石 柳子 鹿兒島から  
 新田 村越 篤 野口  
 新田 太田 春代 十日町から  
 新田 江口 悦子 小白倉  
 新田 小林 悦子 東京から  
 新田 澤口 國雄 新町新田  
 新田 中條 久枝 大倉から

おわび  
 前号第一面に、合同竣工式の際町政あるいは地域の発展に貢献されたかたがたを表彰したことをご紹介しましたが、被表彰者の氏名中、星名美昌さんについては、ご本人からの辞退申し出により、表彰を取り消したにもかかわらず、編集者の手落ちから掲載してしまいました。ご訂正のうえ、失礼をお許しください。

# 仙田小唄

作詩 小林 莊久  
作曲 小堀 久

Manbo

① にんじ ゆ たか な む ら の し ょ う の  
 くろ く ひ かつ た え び す が ー お  
 じん む の た い こ で じん む の た い こ で  
 は る が ー く る ー は る が く る

## 仙田小唄が

### できてくじける

中仙田のKさんから、「仙田小唄」ができたから、新春の広報で皆さんに紹介してほしい。」という熱心な依頼をちょうだいしました。

ご覧の「仙田小唄」、作詞・小林莊平さん、作曲・堤久雄さん。作詞の小林さんは、中仙田出身で現在奥鴨信用金庫の調査役、ご存じのハリマヤ仙田工場誘致に際して、その手ひきをしてくださったかたです。

節まわしも平易ですから、ぜひたくさんのかたに親しんでいただけるよう。

- 一、兼師匠から四の又  
ウドヤノノバやせんまいを  
つみとる姉きの
- 二、兼師匠から四の又  
つみとる姉きの
- 三、眺める緑の山合いを  
うねりうねって浜海川  
音も立てずに
- 四、ハリマヤ工場でユニチカの  
日本一のメリヤスを  
つくるミシンの
- 五、兼師匠のたいちより  
けやまと福よせ盆踊り  
夫婦きどり
- 六、滝の頭のおなの木が  
黄ばむと鎮守の秋祭り  
はためくのほりの
- 七、村をとりまくやまやまを  
紅葉の錦でつつむころ  
田んぼに黄金の
- 八、兼師匠のたいちより  
ははれやかき ははれやかき  
はためくのほりの
- 九、兼師匠のたいちより  
ははれやかき ははれやかき  
はためくのほりの

## くみ取り料金を

### を改定

18リットル 32円に

一月一日から、し尿くみ取り料金を改定しましたので、お知らせします。

新しい、くみ取り料金は、十八リットルで三十三円、百八十リットル(約一石)三百二十円です。これまでの料金と比較すると、十八リットル当りで、五円という値上げ幅です。

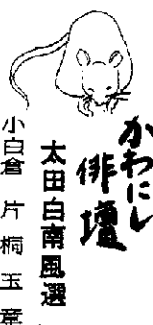
## 納税メモ

明けましておめでとーございませす

昭和四十七年の新春を迎えころから、お喜びを申し上げませす。どうぞ、こしむ、よろしくお願ひいたします。

「一年の計は元日にあり」などといいますが、町税においても、一月一日は重要な意味を有します。

毎年、所得申告をしていただく住民税、そして土地、家屋、償却資産に対する固定資産税も、みんな一月一日現在が賦課期日と定められ、納税関係が成立するからです。



かわにし 俳壇

太田白南風選  
 小白倉 片桐 玉翠  
 工事場の焚火に暮れて冬の雨  
 健やかに農五十年表を踏む  
 汽車降りて寒月の照る村を行く

松風園 南雲 文峯  
 山茶花の花を包みし初吹雪  
 用筆の冷やかに触れバスに乗る  
 釣人も影をひそめし枯真孤

在長岡 金子 且雀  
 年末の闘争の列労働歌  
 ふるさとの漬菜の味を憶ふ夜  
 在草加市 金子 洋石

初日の出裏家に一旗光りけり  
 羽子板を抱いてはしゃぎ姉妹  
 元町 金子 鉄舟  
 墨の香の清さに書初はじめけり